注３ **大学番号：０８０**

届出

［令和２年度設置］

計画の区分： 学部の設置

注１

成蹊大学　経済学部

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　成蹊学園

令和２年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　学長室総合企画課

電話番号　0422-37-3531

（夜間）　0422-37-3531

ＦＡＸ　0422-37-3883

ｅ－mail　kikaku@jim.seikei.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　〇〇大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科　〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和２年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

経済学部

＜経済数理学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　13

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　38

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　39

＜現代経済学科＞　　ページ

１．調査対象大学等の概要等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　44

２．授業科目の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　48

３．施設・設備の整備状況、経費　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　57

４．既設大学等の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　58

５．教員組織の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　60

６．附帯事項等に対する履行状況等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　83

７．その他全般的事項　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　84

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　成蹊学園

（2）大　学　名

成蹊　大学

（3）調査対象大学等の位置

〒180-8633
東京都武蔵野市吉祥寺北町３丁目３番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ツクダ　カズオ） 佃　和夫 （平成19年３月）		
学　　長	（キタガワ　ヒロシ） 北川　浩 （平成28年４月）		
学 部 長	（オダ　ヒロノブ） 小田　宏信 （令和２年４月）		
学科長等	（ヨシダ　ヨシヒロ） 吉田　由寛 （令和２年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 経済数理学科 学士（経済学）	経済学関係	年 4	人 80	年次 人 －	人 320	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 80 （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	1.08倍	－	
志願者数	783 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	742 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	229 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	87 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	1.08		－		－		－		－				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	87 [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	87 [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和2年度	87 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
令和6年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	－ 人	－ 人	
合　計		0 人		－ 人	－ 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月１日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{87} = 0\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜経済学部　経済数理学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) Ⅰ	1前	1								3
	College English (Reading & Writing) Ⅰ	1前	1								3
	College English (Listening&Speaking)Ⅱ	1後	1								3
	College English (Reading & Writing) Ⅱ	1後	1								3
	College English (Integrated Skills) Ⅰ	2前	1								2
	College English (Integrated Skills) Ⅱ	2後	1								2
	TOEFL Preparation Introduction	1前		1							1
	TOEFL Preparation Intermediate	1後		1							1
	TOEIC Preparation Introduction	1前		1							1
	TOEIC Preparation Intermediate	1後		1							1
	IELTS Preparation Introduction	1前		1							1
	IELTS Preparation Intermediate	1後		1							1
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前		2							1
	自分でデザインする英語学習	1前		2							1
	英語発音トレーニング	1前		2							1
	英語読解トレーニング	1前		2							1
	Presentation Skills Basic	1前		2							1
	Discussion Skills Basic	1前		2							1
	Writing Skills (Paragraph)	1前		2							1
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	歌で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	キャリアのための英語と文化	2前		2							1
	TOEFL Preparartion Advanced Ⅰ	1前		1							1
	TOEFL Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅰ	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	TOEIC Preparartion Advanced	1前		1							1
	Media English	2前		2							1
	Academic Listening	2前後		2							1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2
	Discussion & Presentation	2後		2							1
	English for the Workplace	2後		2							1
	Essay Writing	2前後		2							2
	Intensive Reading	2前後		2							2
	World Englishes	2後		2							1
	小計（41科目）	―	6	59	0	0	0	0	0	0	20
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅰ	1前		1		1					
	フランス語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							2
	スペイン語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							3
	中国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							3
	韓国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	韓国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅱ	1後		1		1					
	フランス語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							2
	スペイン語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							3
	中国語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							3

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) Ⅰ	1前	1								5
	College English (Reading & Writing) Ⅰ	1前	1								5
	College English (Listening & Speaking) Ⅱ	1後	1								5
	College English (Reading & Writing) Ⅱ	1後	1								5
	College English (Integrated Skills) Ⅰ	2前	1								3
	College English (Integrated Skills) Ⅱ	2後	1								3
	TOEFL Preparation Introduction	1前後		1							2
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後		1							2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後		1							3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後		1							4
	IELTS Preparation Introduction	1前後		1							2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後		1							2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後		2							2
	自分でデザインする英語学習	1前後		2							1
	英語発音トレーニング	1前後		2							1
	英語読解トレーニング	1前後		2							1
	Presentation Skills Basic	1前後		2							1
	Discussion Skills Basic	1前後		2							2
	Writing Skills (Paragraph)	1前後		2							2
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化Ⅰ（名称変更）	2前		2							1
	多読で学ぶ英語と文化Ⅱ	2後		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	歌で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	キャリアのための英語と文化	2前		2							1
	TOEFL Preparation Advanced Ⅰ	1前		1							1
	TOEFL Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅰ	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後		1							1
	Media English	2前		2							1
	Academic Listening	2前後		2							1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2
	Discussion & Presentation	2後		2							1
	English for the Workplace	2後		2							1
	Essay Writing	2前後		2							2
	Intensive Reading	2前後		2							2
	World Englishes	2後		2							1
	小計（42科目）	―	6	61	0	0	0	0	0	0	33
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅰ	1前		1		0					1
	フランス語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							3
	スペイン語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							4
	中国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							4
	韓国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	韓国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅱ	1後		1		0					1
	フランス語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							3
	スペイン語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							4
	中国語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼担・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	韓国語基礎AⅡ	1後		1							1
	韓国語基礎BⅡ	1後		1							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅰ	2前		2		1					
	フランス語演習言語と文化Ⅱ	2後		2		1					
	フランス語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼担・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	韓国語基礎AⅡ	1後		1							1
	韓国語基礎BⅡ	1後		1							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							2
	ドイツ語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							2
	ドイツ語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							2
	スペイン語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							2
	スペイン語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							5
	中国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							5
	中国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							2
	韓国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							2
	韓国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅰ	2前		2		1					
	フランス語演習言語と文化Ⅱ	2後		2		1					
	フランス語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	フランス語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	フランス語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後		1							1
	小計(101科目)	—	0	176	0	1	0	0	0	0	34
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前後		2							1
	実践話し方入門	1前後		2							1
	日本語表現講義	1後		2							1
	実践漢字講座	1後		2							1
	語彙・読解講座	1後		2							1
	古典に学ぶ日本語表現	1前後		2							1
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前後		2							2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後		2							1
	テーマ別日本語表現(成蹊俳句教室)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前後		2							1
	テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2前		2							1
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・技能・キャリア教育科目	キャリアプランニング	1前後		2							2
	ビジネストレーニングセミナー	1後		2							1
	キャリアセミナー	2前後		2							1
	グローバルキャリアセミナー	2前		2							1
	キャリア発展講義	2後		2							1
	日本企業の現状と展望	3後		2							2
	インターンシップ準備講座	3前		2							1
	インターンシップ実習	3前		2							1
	発展インターンシップ準備講座	3前		2							1
	発展インターンシップ実習	3後		2							1
	小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	6
全学共通科目・技能・情報基盤科目	情報基礎	1前		2							2
	情報活用A	1後		2							1
	情報活用B	1後		2							1
	情報活用C	1後		2							1
	情報活用D	1後		2							1
	情報活用E	1後		2							1
	情報活用F	1後		2							1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	5
全学共通科目・技能・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1前		2							10
	健康・スポーツ演習B	1後		2							10
	スポーツと科学	1後		2							1
	健康と科学	1後		2							1
	スポーツと文化	1後		2							1
	スポーツと社会	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前後		2							1
	倫理学の基礎	1前後		2							1
	現代社会と哲学	1後		2							1
	現代社会と倫理学	1後		2							1
	文学への招待	1前後		2		1					
	芸術への招待	1前後		2							2
	カルチュラル・スタディーズ	1前		2							3
	心理学の基礎	1前後		2							1
	自己理解の心理学	1前後		2							1
	教育原理	1前		2							1
	教育心理学	1前		2							1
	小計(11科目)	—	0	22	0	1	0	0	0	0	13
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前後		2							1
	社会学と現代	1前後		2							2
	日本国憲法	1前後		2							2
	市民生活と法A	1前		2							1
	市民生活と法B	1後		2							1
	現代のマスメディア	1前		2							1
	社会心理学入門	1前		2							1
	企業と社会	1後		2							1
	学校と社会	1後		2							1
	近現代日本史A	1前後		2							1
	近現代日本史B	1前後		2							1
	現代社会の地理	1前後		2							2
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	13

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	フランス語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	フランス語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後		1							1
	小計(101科目)	—	0	176	0	1	0	0	0	0	38
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前後		2							4
	実践話し方入門	1前後		2							1
	日本語表現講義	1前後		2							1
	実践漢字講座	1前後		2							1
	語彙・読解講座	1後		2							1
	古典に学ぶ日本語表現	1前後		2							2
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前後		2							2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後		2							1
	テーマ別日本語表現(成蹊俳句教室)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前後		2							1
	テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2前		2							1
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	12
全学共通科目・技能・キャリア教育科目	キャリアプランニング	1前後		2							5
	ビジネストレーニングセミナー	1後		2							2
	キャリアセミナー	2前後		2							1
	グローバルキャリアセミナー	2後		2							1
	キャリア発展講義	2後		2							1
	日本企業の現状と展望	2後		2							2
	インターンシップ準備講座	3前		2							1
	インターンシップ実習	3後		2							1
	発展インターンシップ準備講座	3前		2							1
	発展インターンシップ実習	3後		2							1
	小計(10科目)	—	0	20	0	0	0	0	0	0	8
全学共通科目・技能・情報基盤科目	情報基礎	1前		2							2
	情報活用A	1後		2							2
	情報活用B	1後		2							1
	情報活用C	1後		2							1
	情報活用D	1後		2							1
	情報活用E	1後		2							1
	情報活用F	1後		2							1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	7
全学共通科目・技能・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1後		2							5
	健康・スポーツ演習B	1後		2							19
	スポーツと科学	1前		2							1
	健康と科学	1前		2							1
	スポーツと文化	1後		2							1
	スポーツと社会	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	19
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前後		2							3
	倫理学の基礎	1前後		2							2
	現代社会と哲学	1後		2							1
	現代社会と倫理学	1後		2							1
	文学への招待	1前後		2		0					3
	芸術への招待	1前後		2							2
	カルチュラル・スタディーズ	1前後		2							4
	心理学の基礎	1前後		2							3
	自己理解の心理学	1前後		2							3
	教育原理	1前後		2							2
	教育心理学	1前後		2							2
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	22
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前後		2							1
	社会学と現代	1前後		2							2
	日本国憲法	1前後		2							2
	市民生活と法A	1前		2							1
	市民生活と法B	1後		2							1
	現代のマスメディア	1前		2							1
	社会心理学入門	1前後		2							1
	企業と社会	1前後		2							1
	学校と社会	1後		2							1
	近現代日本史A	1前		2							2
	近現代日本史B	1後		2							3
	現代社会の地理	1前後		2							2
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	16

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1前		2							1
	人間と進化	1後		2							1
	脳科学と心	1後		2							1
	天文学入門	1前		2							2
	薬はなぜ効くか	1後		2							1
	身の回りの科学	1前		2							1
	科学史	1前		2							1
	科学技術の発展と歴史	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（熱と光の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（物質の科学）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（数の世界）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（生命の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための数学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための科学実験）	1後		2							2
	小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目・持続社会探究・環境・地域	地球と環境	2前		2							1
	気象と地球環境	2後		2							1
	自然環境と文明	2前		2							1
	日本列島の歴史と災害	2前		2							1
	日本の国土と社会	2前後		2							1
	外国の自然と社会A	2後		2							1
	外国の自然と社会B	2前		2							1
	地域づくり論	2前		2							1
	環境科学トピックス（生命と環境）	2前		2							1
	環境科学トピックス（食料と環境）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後		2							1
	近現代のアジアA	2前		2							1
	近現代のアジアB	2後		2							1
	近現代の欧米A	2前		2							1
	近現代の欧米B	2後		2							1
	中東地域史	2前		2							1
	現代の国際政治	2前		2							1
	グローバル経済論	2前		2							1
	国際文化交流論	2後		2							1
	異文化理解トピックス（ドイツ語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（フランス語圏）	2後		2		1					
	異文化理解トピックス（スペイン語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（中国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（韓国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（イスラーム世界）	2後		2							1
	小計（15科目）	—	0	30	0	1	0	0	0	0	12
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後		2							1
	生命倫理と法	2後		2							1
	地域福祉論	2前		2							1
	人権とジェンダー	2前		2							1
	こころの健康と臨床	2前		2							1
	老人福祉論	2前		2							1
	福祉社会に生きる	2後		2							1
	特別支援教育概論	2前		2							1
	共生社会トピックス（アートと社会）	2前		2							1
	共生社会トピックス（日本女性史）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1前		2							1
	野外自然教育論	1前		2							1
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2							1
	大学生活と相互理解	1後		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1
	武蔵野地域連携セミナー	1後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目　小計（259科目）			6	469	0	1	0	0	0	0	153

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1後		2							1
	人間と進化	1後		2							1
	脳科学と心	1前後		2							1
	天文学入門	1前		2							2
	薬はなぜ効くか	1後		2							1
	身の回りの科学	1前		2							1
	科学史	1前		2							1
	科学技術の発展と歴史	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（熱と光の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（物質の科学）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（数の世界）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（生命の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための数学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための科学実験）	1後		2							2
	小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目・持続社会探究・環境・地域	地球と環境	2前		2							1
	気象と地球環境	2後		2							1
	自然環境と文明	2前		2							1
	日本列島の歴史と災害	2前		2							1
	日本の国土と社会	2前後		2							1
	外国の自然と社会A	2後		2							1
	外国の自然と社会B	2前		2							1
	地域づくり論	2前		2							1
	環境科学トピックス（生命と環境）	2前		2							1
	環境科学トピックス（食料と環境）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後		2							1
	近現代のアジアA	2前		2							1
	近現代のアジアB	2後		2							1
	近現代の欧米A	2前		2							1
	近現代の欧米B	2後		2							1
	中東地域史	2前		2							1
	現代の国際政治	2前		2							1
	グローバル経済論	2前		2							1
	国際文化交流論	2後		2							1
	異文化理解トピックス（ドイツ語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（フランス語圏）	2後		2		1					
	異文化理解トピックス（スペイン語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（中国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（韓国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（イスラーム世界）	2後		2							1
	小計（15科目）	—	0	30	0	1	0	0	0	0	12
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後		2							1
	生命倫理と法	2後		2							1
	地域福祉論	2前		2							1
	人権とジェンダー	2前		2							1
	こころの健康と臨床	2前		2							1
	高齢者福祉論（名称変更）	2前		2							1
	福祉社会に生きる	2後		2							1
	特別支援教育概論	2前		2							1
	共生社会トピックス（アートと社会）	2前		2							1
	共生社会トピックス（日本女性史）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1後		2							1
	野外自然教育論（未開講）	休講		2							0
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2							1
	大学生活と相互理解	1後		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後		2							3
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	11
全学共通科目　小計（260科目）			6	471	0	1	0	0	0	0	197

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
専門科目・ゼミナール科目	基礎ゼミナール	1前	2			5	1	1			12
	プログラミング演習	2前		2		1					
	理論・計量ワークショップ	2後		2		2	1				1
	計量実践ワークショップ	3後		2		1					
	経済学ワークショップ	3通		4		1					
	上級ゼミナールⅠ	3前	2			4	1	1			
	上級ゼミナールⅡ	3後	2			4	1	1			
	卒業研究	4通	4			4	1	1			
	小計(8科目)		10	10	0	6	1	1	0	0	12
専門科目・基盤科目・基盤Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	1前		2			1				
	マクロ経済学Ⅰ	1前		2		1					
	計量経済学Ⅰ	1前		2		1					
	経済数学Ⅰ	1前		2		1					
	ミクロ経済学Ⅱ	1後		2		1					
	マクロ経済学Ⅱ	1後		2							2
	計量経済学Ⅱ	1後		2		1					
	経済数学Ⅱ	1後		2		1					
	ミクロ経済学Ⅲ	2前		2		1					
	マクロ経済学Ⅲ	2前		2				1			
	計量経済学Ⅲ	2前		2		1					
	経済数学Ⅲ	2前		2		1					
	小計(12科目)		0	24	0	5	1	1	0	0	2
専門科目・基盤科目・基盤Ⅱ	ゲーム理論	2前		2		1					
	情報の経済学	2後		2		1					
	経済発展論	2前		2							1
	行動経済学	2前		2		1					
	国際マクロ経済学	2前		2				1			1
	応用計量経済学	2後		2							2
	人口学	2前		2							1
	社会経済地理学	1後		2							1
	社会学	2前		2							1
	小計(9科目)	―	0	18	0	2	0	1	0	0	6
専門科目・総合科目・制度・歴史	経済史の基礎	1後		2							1
	数量経済史	2前		2							1
	経済学史	2前		2							1
	現代日本経済	2後		2							1
	社会思想史	2後		2							1
	小計(5科目)	―	0	10	0	0	0	0	0	0	4
専門科目・総合科目・社会理解	労働法	2後		2							1
	企業会計	2前		2							1
	社会理解実践講義	2前		2							1
	経済実務講義	2前		2							1
	小計(4科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・応用科目	産業組織論A	2前		2							1
	産業組織論B	2後		2							1
	国際経済学A	2前		2							1
	国際経済学B	2後		2							1
	組織の経済学	2後		2							1
	法と経済	2後		2							1
	労働経済学	2後		2							1
	金融論A	2前		2		1					
	金融論B	2後		2		1					
	ファイナンスA	2前		2							1
	ファイナンスB	2後		2							1
	国際金融論	2後		2							2
	財政学A	2前		2							1
	財政学B	2後		2		1					
	公共経済学	2後		2							1
	都市経済学	2後		2		1					
	教育経済学	2後		2				1			
	環境経済学A	2前		2			1				
	小計(18科目)	―	0	36	0	2	1	1	0	0	6
専門科目・応用発展科目・発展科目	Advanced Microeconomics Ⅰ	3前		2		1					
	Advanced Macroeconomics Ⅰ	3前		2				1			
	Advanced Econometrics Ⅰ	3前		2		1					
	Advanced Microeconomics Ⅱ	3後		2			1				
	Advanced Macroeconomics Ⅱ	3後		2		1					
	Advanced Econometrics Ⅱ	3後		2		1					
	小計(6科目)	―	0	12	0	3	1	1	0	0	0
広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前		2							1
	日本史概論Ⅱ	2後		2							1
	世界史概論Ⅰ	2前		2							1
	世界史概論Ⅱ	2後		2							1
	人文地理学	2前		2							1
	自然地理学	2後		2							1
	地誌学	2後		2							1
	現代の政治学	2後		2							1
	小計(8科目)	―	0	16	0	0	0	0	0	0	6
教職課程の大学が独自に設定する科目	教職特論演習Ⅰ	3後			2						1
	教職特論演習Ⅱ	4前			2						1
	学校経営と学校図書館	2前			2						1
	学校図書館メディアの構成	2後			2						1
	学習指導と学校図書館	2前			2						1
	読書と豊かな人間性	2後			2						1
	情報メディアの活用	2後			2						1
	小計(7科目)	―	0	0	14	0	0	0	0	0	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
専門科目・ゼミナール科目	基礎ゼミナール	1前	2			5	0	0			7
	プログラミング演習	2前		2		1					
	理論・計量ワークショップ	2後		2		2	1				1
	計量実践ワークショップ	3後		2		1					
	経済学ワークショップ	3通		4		1					
	上級ゼミナールⅠ	3前	2			4	2	0			
	上級ゼミナールⅡ	3後	2			4	2	0			
	卒業研究	4通	4			4	2	0			
	小計(8科目)		10	10	0	6	2	0	0	0	7
専門科目・基盤科目・基盤Ⅰ	ミクロ経済学Ⅰ	1前		2			1				
	マクロ経済学Ⅰ	1前		2		1					
	計量経済学Ⅰ	1前		2		1					
	経済数学Ⅰ	1前		2		1					
	ミクロ経済学Ⅱ	1後		2		1					
	マクロ経済学Ⅱ	1後		2							1
	計量経済学Ⅱ	1後		2		1					
	経済数学Ⅱ	1後		2		1					
	ミクロ経済学Ⅲ	2前		2		1					
	マクロ経済学Ⅲ	2前		2			1	0			
	計量経済学Ⅲ	2前		2		1					
	経済数学Ⅲ	2前		2		1					
	小計(12科目)		0	24	0	5	2	0	0	0	1
専門科目・基盤科目・基盤Ⅱ	ゲーム理論	2前		2		1					
	情報の経済学	2後		2		1					
	経済発展論	2前		2							1
	行動経済学	2前		2		1					
	国際マクロ経済学	2前		2			1	0			1
	応用計量経済学	2後		2							1
	人口学	2前		2							1
	社会経済地理学	1後		2							1
	社会学	2前		2							1
	小計(9科目)	―	0	18	0	2	1	0	0	0	6
専門科目・総合科目・制度・歴史	経済史の基礎	1後		2							1
	数量経済史	2前		2							1
	経済学史	2前		2							1
	現代日本経済	2後		2							1
	社会思想史	2後		2							1
	小計(5科目)	―	0	10	0	0	0	0	0	0	4
専門科目・総合科目・社会理解	労働法	2後		2							1
	企業会計	2前		2							1
	社会理解実践講義	2前		2							1
	経済実務講義	2前		2							1
	小計(4科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・応用科目	産業組織論A	2前		2							1
	産業組織論B	2後		2							1
	国際経済学A	2前		2							1
	国際経済学B	2後		2							1
	組織の経済学	2後		2							1
	法と経済	2後		2							1
	労働経済学	2後		2							1
	金融論A	2前		2		1					
	金融論B	2後		2		1					
	ファイナンスA	2前		2							1
	ファイナンスB	2後		2							1
	国際金融論	2後		2							2
	財政学A	2前		2							1
	財政学B	2後		2		1					
	公共経済学	2後		2							1
	都市経済学	2後		2		1					
	教育経済学	2後		2			1	0			
	環境経済学A	2前		2			1				
	小計(18科目)	―	0	36	0	2	2	0	0	0	6
専門科目・応用発展科目・発展科目	Advanced Microeconomics Ⅰ	3前		2		1					
	Advanced Macroeconomics Ⅰ	3前		2			1	0			
	Advanced Econometrics Ⅰ	3前		2		1					
	Advanced Microeconomics Ⅱ	3後		2			1				
	Advanced Macroeconomics Ⅱ	3後		2		1					
	Advanced Econometrics Ⅱ	3後		2		1					
	小計(6科目)	―	0	12	0	3	2	0	0	0	0
広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前		2							1
	日本史概論Ⅱ	2後		2							1
	世界史概論Ⅰ	2前		2							1
	世界史概論Ⅱ	2後		2							1
	人文地理学	2前		2							1
	自然地理学	2後		2							1
	地誌学	2後		2							1
	現代の政治学	2後		2							1
	小計(8科目)	―	0	16	0	0	0	0	0	0	6
教職課程の大学が独自に設定する科目	教職特論演習Ⅰ	3後			2						1
	教職特論演習Ⅱ	4前			2						1
	学校経営と学校図書館	2前			2						1
	学校図書館メディアの構成	2後			2						1
	学習指導と学校図書館	2前			2						1
	読書と豊かな人間性	2後			2						1
	情報メディアの活用	2後			2						1
	小計(7科目)	―	0	0	14	0	0	0	0	0	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼担・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	道徳教育の指導法	3前			2						2
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3前			2						1
	教育方法論	2前			2						4
	生徒・進路指導論	1後			2						1
	教育相談	2前			2						2
	教育実習論	3後			1						3
	教育実習(中・高)	4通			5						3
	教育実習(高)	4通			3						3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						4
	社会科教育法A	3前			2						1
	社会科教育法B	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法	2後			2						1
	社会科・公民科教育法	2後			2						1
	公民科教育法	3後			2						1
	小計(17科目)	―	0	0	37	0	0	0	0	0	8
専門科目 小計(94科目)		―	10	134	51	6	1	1	0	0	37
合計(353科目)		―	16	603	51	6	1	1	0	0	180

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。
(1)全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。
①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目必修6単位を含む)
「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2)経済数理学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で68単位以上修得すること。
①「ゼミナール科目」:必修科目10単位を含み12単位以上
②「専門科目」:次の要件を満たした上で50単位以上
基盤科目:基盤Ⅰから18単位以上、基盤Ⅱから8単位以上
総合科目:制度・歴史から2単位以上、社会理解から2単位以上を含み6単位以上
応用発展科目:応用科目から12単位以上、
発展科目から6単位以上
(3)卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り28単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

(履修科目の登録の上限:40単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼担・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	**1前後**			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	道徳教育の指導法	3前			2						2
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3前			2						1
	教育方法論	2前			2						4
	生徒・進路指導論	**1集中**			2						**2**
	教育相談	2前			2						2
	教育実習論	3後			1						3
	教育実習(中・高)	4通			5						3
	教育実習(高)	4通			3						3
	教職実践演習(中・高)	4後			2						4
	社会科教育法A	3前			2						1
	社会科教育法B	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法	2後			2						1
	社会科・公民科教育法	2後			2						1
	公民科教育法	3後			2						1
	小計(17科目)	―	0	0	37	0	0	0	0	0	**9**
専門科目 小計(94科目)		―	10	134	51	6	**2**	**0**	0	0	**36**
合計(354科目)		―	16	605	51	6	**2**	**0**	0	0	**222**

卒業要件及び履修方法

4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。
(1)全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。
①「外国語(英語科目、初修外国語科目)」「技能(日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目)」から16単位以上(このうち英語科目必修6単位を含む)
「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上

(2)経済数理学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で68単位以上修得すること。
①「ゼミナール科目」:必修科目10単位を含み12単位以上
②「専門科目」:次の要件を満たした上で50単位以上
基盤科目:基盤Ⅰから18単位以上、基盤Ⅱから8単位以上
総合科目:制度・歴史から2単位以上、社会理解から2単位以上を含み6単位以上
応用発展科目:応用科目から12単位以上、
発展科目から6単位以上
(3)卒業に必要な単位124単位のうち、(1)(2)から規定単位数を差し引いた残り28単位については、(1)(2)において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。

(履修科目の登録の上限:40単位(年間))

(注)
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
  （２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

（別紙　EE令2-1）のとおり。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
10 科目	319 科目	24 科目	353 科目	10 科目 [　　]	320 科目 [　1　]	24 科目 [　　]	354 科目 [　1　]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	野外自然教育論	2	1前	一般	選択	新型コロナウィルスの影響により、フィールドワーク等実践を行うことができない等の理由のため。
2						
3						

（注）・　配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・　専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目はフィールドワークを用いる予定の授業であったが、新型コロナウィルスの影響による外出自粛のためそれを行うことができず、この科目の目的目標を達成することができないため休講とした。次年度以降、通常授業体制で行うことができれば開講予定である。当該学生には履修登録前にポータルサイト等で周知済みである。

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{1}{353} = \boxed{0.28}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・　「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	成蹊高等学校（必要面積13,704㎡）(収容定員：966人)と共用 成蹊中学校（必要面積12,924㎡）(収容定員：801人)と共用 成蹊小学校（必要面積10,620㎡）(収容定員：720人)と共用
	校舎敷地	78,816.78㎡	0㎡	51,241.63㎡	130,058.41㎡	
	運動場用地	87,580.85㎡	0㎡	18,671.01㎡	106,251.86㎡	
	小計	166,397.63㎡	0㎡	69,912.64㎡	236,310.27㎡	
	その他	8,256.21㎡	237,813.30㎡	0㎡	246,069.51㎡	
	合計	174,653.84㎡	237,813.30㎡	69,912.64㎡	482,379.78㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		92,528.93㎡ (92,528.93㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	92,528.93㎡ (92,528.93㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	70室	46室	211室	~~9室~~8室 (補助職員　人)	~~5室~~6室 (補助職員　人)	語学学習施設から情報処理学習施設に用途変更したため(2)。

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	経済学部　経済数理学科	10	室
	経済学部　現代経済学科	~~14~~ 15	室

令和2年4月　現代経済学科専任准教授1名を新規採用のため（2）

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分
	経済学部	70,049〔33,974〕 ~~(67,267〔33,361〕)~~ (66,763〔33,192〕)	788〔300〕 ~~(788〔300〕)~~ (88〔29〕)	73〔73〕 ~~(73〔73〕)~~ (118〔118〕)	29,937 ~~(27,265)~~ (39,718)	284 ~~(284)~~ (252)	0 (0)	図書 179,214〔44,851〕 ~~(172,298〔44,332〕)~~ (86,127〔12,096〕)
	計	70,049〔33,974〕 ~~(67,267〔33,361〕)~~ (66,763〔33,192〕)	788〔300〕 ~~(788〔300〕)~~ (88〔29〕)	73〔73〕 ~~(73〔73〕)~~ (118〔118〕)	29,937 ~~(27,265)~~ (39,718)	284 ~~(284)~~ (252)	0 (0)	

変更理由は、「７その他全般的事項」（１）設置計画変更事項等　に記載(2)。

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	11,925.03㎡	1,032	~~1,700,000~~ 1,390,000

2020年2月に関係する書架のすべての点検を行った結果、収納可能冊数が変更となった(2)。

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	5006.6㎡	野球場 1面、サッカー場 1面、テニスコート 1面、卓球場 1棟 ハンドボールコート 1面、アーチェリー射場 1面、弓道場 1面

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り	教員１人当り研究費等	~~1,068千円~~ 1,017千円	~~1,068千円~~ 1,017千円	図書購入費	~~7,372千円~~ 5,211千円	~~7,372千円~~ 5,276千円	~~7,372千円~~ 5,940千円
	共同研究費等	~~1,305千円~~ 1,360千円	~~1,305千円~~ 1,117千円	設備購入費	~~8,209千円~~ 26,948千円	~~8,209千円~~ 20,733千円	~~8,209千円~~ 21,014千円

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	―　千円	―　千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等

届出学部全体

変更理由は、「７その他全般的事項」（１）設置計画変更事項等　に記載(2)。

図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	成蹊大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度	年度	年度	
経済学部	4	－	－	2000	－	－	－	－	昭和43	－	令和２年学生募集停止
経済経営学科	4	－	－	2000	学士（経済学）	－	－	平成30	平成16	東京都武蔵野市吉祥寺北町３丁目３番１号	
経済学部	4	230	－	920	－	1.01	1.01	－	令和2	－	令和2年設置
経済数理学科	4	80	－	320	学士（経済学）	1.08	1.08	－	令和2	同上	令和2年設置
現代経済学科	4	150	－	600	学士（経済学）	0.97	0.97	－	令和2	同上	令和2年設置
理工学部	4	400	－	1600	－	1.01	0.99	－	－	－	
物質生命理工学科	4	125	－	500	学士（理工学）	0.98	0.99	令和2	平成17	同上	定員変更（△8）
情報科学科	4	150	－	600	学士（理工学）	1.05	1.01	令和2	平成17	同上	定員変更（ 16）
ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	125	－	500	学士（工学）	0.99	0.97	令和2	平成17	同上	定員変更（△8）
文学部	4	420	－	1680	－	1.02	1.02	－	昭和40	－	
英語英米文学科	4	121	－	484	学士（文学）	1.01	1.00	－	昭和40	同上	
日本文学科	4	84	－	336	学士（文学）	1.05	1.04	－	昭和40	同上	
国際文化学科	4	110	－	440	学士（文学）	1.00	1.00	－	平成12	同上	
現代社会学科	4	105	－	420	学士（文学）	1.02	1.05	－	平成12	同上	
法学部	4	440	－	1760	－	1.02	1.07	－	昭和43	－	
法律学科	4	280	－	1120	学士（法学）	1.02	1.07	平成30	昭和43	同上	
政治学科	4	160	－	640	学士（政治学）	1.02	1.07	平成30	昭和43	同上	
経営学部	4	290	－	1160	－	1.04	1.04	－	令和2	－	令和2年設置
総合経営学科	4	290	－	1160	学士（経営学）	1.04	1.04	－	令和2	同上	令和2年設置
大学全体	4	1780	－	7120	－	1.01	1.02	－	－	－	

大学の名称	成蹊大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍		年度	年度	年度	
理工学研究科 理工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成21	－	
博士前期課程	2	70	－	140	修士（理工学）又は修士（工学）	0.90	0.82	－	平成21	同上	
博士後期課程	3	10	－	30	博士（理工学）又は博士（工学）	0.20	0.20	－	平成21	同上	
経済経営研究科 経済学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成19	－	
博士前期課程	2	6	－	12	修士（経済学）	0.41	0.50	－	平成19	同上	
博士後期課程	3	3	－	9	博士（経済学）	0.00	0.00	－	平成19	同上	
経営学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成19	－	
博士前期課程	2	10	－	20	修士（経営学）	0.45	0.50	－	平成19	同上	
博士後期課程	3	3	－	9	博士（経営学）	0.00	0.00	－	平成19	同上	
法学政治学研究科 法律学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和45	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（法学）	0.00	0.00	－	昭和45	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（法学）	0.08	0.00	－	昭和47	同上	
政治学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和47	－	
博士前期課程	2	4	－	8	修士（政治学）	0.25	0.00	－	昭和47	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士（政治学）	0.00	0.00	－	昭和48	同上	
文学研究科 英米文学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和46	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（文学）	0.00	0.00	－	昭和46	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（文学）	0.16	0.25	－	平成10	同上	
日本文学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和46	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（文学）	0.43	0.37	－	昭和46	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（文学）	0.00	0.00	－	平成3	同上	
社会文化論専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成3	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（学術）	0.12	0.12	－	平成3	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（学術）	0.16	0.25	－	平成3	同上	
法務研究科 法務専攻	3	－	－	－	法務博士（専門職）	－	－	－	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学院全体（博士前期課程）	2	122	－	244	－	0.31	0.28	－	－	－	
大学院全体（博士後期課程）	3	34	－	102	－	0.07	0.08	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

〈経済学部経済数理学科〉

（１）－①担当教員表
個人情報を含むため公表しません。（P．１６～P．３３）

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和２年度】

（別紙　EE令2-2）のとおり。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
6	1	1	0	8	1	6	2	0	0	8	1
(5)	(1)	(1)	(1)	(8)	(1)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
6	2	0	0	8	1	6	2	0	0	8	1
[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	(0)	[0]	[1]	[△1]	[0]	[0]	(0)

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{8}{8} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{8} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{1}{1} = 100\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由　該当なし

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（D）			後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況　該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）			後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）			後任補充状況の集計（E）＋（G）								
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{8} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（3）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況　該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
認　可　時 （令和元年）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	遵守事項	（別紙　EE令2-3）のとおり。	履行中	（別紙　EE令2-3）のとおり。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜経済学部　経済数理学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備の整備状況、経費の変更 【(5)図書・設備】 図書　　67,267冊（うち外国書33,361冊）	66,763冊（うち外国書33,192冊） 10年前以上に購入した図書で、主に複数所有のものの冊数の見直し、除籍を行った結果、当初計画より冊数が減少した。
学術雑誌　788種（うち外国書300種）	88種（うち外国書29種） 包括的契約の電子媒体への移行により、紙媒体での単独契約を行うタイトルが減少していること、大学紀要など、機関リポジトリによる配信が行われる媒体について紙媒体の購読を停止していること及び購読雑誌の定期的な見直しの結果、種類としては減少した。ただし、包括契約1種類で複数種類の雑誌を扱っているものが多いため、これに伴うサービス低下はない。
電子ジャーナル　73（うち外国書73）	118（うち外国書118） 学術雑誌の移行に伴い、取扱い数が増加した。
視聴覚資料　27,265点	39,718点 算出方法を見直し、改めて集計した結果、上記のとおりとなった。
機械・器具　284点	252点 図書館で管理していた学生向け貸し出し用PCが、令和2年度から大学での一括管理（管理部署：高等教育開発・支援センター）となったため減少した。ただし、これによる学生サービスへの支障はない。
大学全体での共用分図書　172,298（うち外国書44,332）	86,127（12,096） 算出方法を見直し、改めて集計した結果、上記のとおりとなった。これに伴うサービス低下はない。
【(8)経費の見積り及び維持方法の概要】 【教員１人当たりの研究費等】 開設年度　:1,068千円 完成年度　:1,068千円	開設年度　:1,017千円 完成年度　:1,017千円 本学の教員1人当たりの研究費等のうち、個人研究費以外の予算は教員数で按分することになるが、2020年度は専任教員数の増加があり、その影響により1名あたりの研究費等が減少した。
【共同研究費】 開設年度　:1,305千円 完成年度　:1,305千円	開設年度　:1,360千円 完成年度　:1,117千円 過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。実績・計画に基づく変更のため、これによる研究環境への影響はない。
【図書購入費】 開設前年度:7,372千円 開設年度　:7,372千円 完成年度　:7,372千円	開設前年度:5,211千円 開設年度　:5,276千円 完成年度　:5,940千円 図書購入費は当初計画時より減少しているが、刊行物購入費は増加傾向にあり、図書と刊行物の購入費の合計では支出額に大きな増減はなく研究・教育環境への影響はない。刊行物購入費が増加している理由の1つとして、電子刊行物への支出が増加していることが挙げられる。
【設備購入費】 開設前年度:8,209千円 開設年度　:8,209千円 完成年度　:8,209千円	開設前年度:26,948千円 開設年度　:20,733千円 完成年度　:21,014千円 開設前年度にあたる2019年度に大規模なICT環境整備を行い、教育研究用機器の支出が大幅に増加した。第1年次にあたる2020年度以降もICT環境整備の継続が見込まれるため増額の修正とした。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制
ａ 委員会の設置状況
FDについては、本学部では （別紙 EE令2-4）のとおり、FD委員会を設置している。
SDについては、本学では学部ごとではなく全学体制で行っている。

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
FD委員会は、本学部、経営学部（令和2年度設置）及び経済学部（令和2年学生募集停止、以下「旧経済学部」という。）合同で行う。
本学部のFD委員は、学部長、大学評議員、学科主任、教務委員長、教務副委員長の役職者等及び役職に就いていない本学部の専任教員のうちから学部長が指名する若干名で構成する。
原則として、教務委員会とあわせて行う。年間16回を予定している。

ｃ 委員会の審議事項等
FD委員会の審議事項は、FD委員会規則に次のように定めている。
（1）本学部における教育活動の改善に関する事項
（2）学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
（3）FD活動の点検・評価に関する事項
（4）その他学部長が必要と認めた事項
この定めに基づき、令和元年度の旧経済学部FD委員会では、次の事項についての審議等を行った。
ティーチングアウォード（教員顕彰）候補者選定、推薦
研究倫理
FD研修の年間計画の策定
FD研修の内容策定、運営（2019年度はシラバスワークショップを実施）
父母懇談会におけるアンケートの結果の検討、分析
授業評価アンケート結果の分析
シラバス関係（取りまとめ、第三者チェックの運用主体）
カリキュラム運営に係る申合せの見直し

② 実施状況
【FD】
ａ 実施内容
上記のFD委員会で内容を策定したFD研修について、令和元年度の旧経済学部では「シラバスワークショップ」を実施した。
ｂ 実施方法
令和元年度の旧経済学部では、教授会開催日に、教授会に先立ち集合形式で開催した。
ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）
ほぼ全員が参加した。
ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
参加したほとんどの教員から、「シラバスの重要性を再確認できた」「シラバス作成上のポイントを再確認できた」「自分が作成したシラバスを振り返り、改善ポイントを発見できた」等のフィードバックがあった。また、自身のシラバスにおける具体的改善点を発見した教員は、到達目標の具体化や学生目線での記載、事前学習の詳細な記載などの修正方針もフィードバックしていた。

【SD】
ａ 実施内容
成蹊大学SD（Staff Development）実施方針を定め（別紙 EE令2-5）、これに基づき毎年実施計画を策定（別紙 EE令2-6）した上でSDを実施している。
2016年度から19年度までで、9回、4回、6回、6回と計25回開催した。運営の所管は学長室総合企画課。
研修テーマは、大学の教育研究活動及び教学マネジメントに関し、より適切かつ効果的な運営ができるよう、職員が必要な知識及び技能を習得するとともに、その能力及び資質の向上をめざすという目的（方針）を達成するため、以下のいずれかに該当するものとする。
① 3つのポリシーに基づく本学の自己点検・評価と内部質保証に関するもの
② 教学マネジメントに関わる専門的職員の育成に関するもの
③ 大学改革に関するもの
④ 学生の厚生補導に関するもの
⑤ 業務領域の知見の獲得を目的とするもの（総務、財務、人事、企画、教務、研究等）
⑥ その他（本学独自の業務に関するもの、時流に対応したもの等）

ｂ 実施方法
原則として、会議室ないしは教室での研修会。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）
2019年度に開催したSDは、次のとおりである。なお、参加者数については、教員・職員分け隔てなく参加募集をしていることもあり、分けての集計は行っていない。
第1回「大学改革に関するメッセージ」参加数：81名
第2回「大学のガバナンス改革と広報戦略」参加数：28名
第3回「学生の成長を導くための「学修成果の可視化」～IR活用事例を交えて～」参加数：24名
第4回「第3期認証評価と内部質保証の実質化に向けて」参加数：27名
第5回「ステークホルダーが抱く「成蹊大学」のイメージとは？」参加数：48名
第6回「大学における障がい学生支援の現在 ～DO-IT Japan*やPHED**の取り組みから～」参加数：36名

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況
　ａ　実施の有無及び実施時期
大学全体として、前期末、後期末に実施する。

　ｂ　教員や学生への公開状況、方法等
当該学期の次の学期（前期実施であれば、後期）のはじめころに、HP（学内専用）で公開。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし。

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙 EE令2-7）のとおり。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体の自己点検・評価報告書として、令和6年度はじめ（認証評価結果受領後）に公表予定（令和4年度報告書作成、令和5年度公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定）。

（前回は、平成27年度報告書作成、平成28年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受審。平成29年度はじめに大学ホームページ上に公開）

b 公表方法

自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開。

③ 認証評価を受ける計画

上述のとおり、令和5年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ 無 〕

≪aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔特に書類の一部において教員の個人情報（非就任者を含む。）を記載するものがあるものは公表に適切ではないため。〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　成蹊学園

（2）大　学　名

成蹊　大学

（3）調査対象大学等の位置

〒180-8633
東京都武蔵野市吉祥寺北町３丁目３番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ツクダ　カズオ） 佃　和夫 （平成19年３月）		
学　　長	（キタガワ　ヒロシ） 北川　浩 （平成28年４月）		
学 部 長	（オダ　ヒロノブ） 小田　宏信 （令和２年４月）		
学科長等	（ハサモト　カヨ） 挾本　佳代 （令和２年４月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）令和元年度に報告済の内容　→（元）
令和２年度に報告する内容　→（２）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５）　調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・　なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・　様式は、平成２８年度開設の４年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和２年度までの５年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・　留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－①　調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備　考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部 現代経済学科 学士（経済学）	経済学関係	年 4	人 150	年次 人	人 600	

（注）・　定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。
・　基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・　学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
・　「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
Ａ　入学定員	人 150 （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	人 － （－） ［－］	人	0.97倍	－	
志願者数	3271 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
受験者数	3037 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
合格者数	437 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
Ｂ　入学者数	146 （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］	－ （－） ［－］			
入学定員超過率 Ｂ／Ａ	0.97		－		－		－		－				

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　（　）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、((　))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・　転入学生は記入しないでください。
・　［　］内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学　年	令和２年度		令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		備　　考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	146 [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	146 [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		－ [　－　] (　－　)		

・令和２年５月１日　公表

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

・　[　　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。

・（　）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。

・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。

・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。

・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳 入学した年度	内訳 退学者数	内訳 退学者数 うち留学生数	主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
令和2年度	146 人	0 人	令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
令和4年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
令和5年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
令和6年度	－ 人	－ 人	令和2年度	－ 人	－ 人	
			令和3年度	－ 人	－ 人	
			令和4年度	－ 人	－ 人	
			令和5年度	－ 人	－ 人	
			令和6年度	－ 人	－ 人	
合　計		0 人		－ 人	－ 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月１日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{146} = 0\ \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{－}{－} = \text{\#VALUE!}\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜経済学部　現代経済学科＞

（1）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) Ⅰ	1前	1								4
	College English (Reading & Writing) Ⅰ	1前	1								6
	College English (Listening&Speaking)Ⅱ	1後	1								4
	College English (Reading & Writing) Ⅱ	1後	1								6
	Intensive English Ⅰ	1前		1							2
	Intensive English Ⅱ	1後		1							2
	College English (Integrated Skills) Ⅰ	2前		1							5
	College English (Integrated Skills) Ⅱ	2後		1							5
	TOEFL Preparation Introduction	1前		1							1
	TOEFL Preparation Intermediate	1後		1							1
	TOEIC Preparation Introduction	1前		1							1
	TOEIC Preparation Intermediate	1後		1							1
	IELTS Preparation Introduction	1前		1							1
	IELTS Preparation Intermediate	1後		1							1
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前		2							1
	自分でデザインする英語学習	1前		2							1
	英語発音トレーニング	1前		2							1
	英語読解トレーニング	1前		2							1
	Presentation Skills Basic	1前		2							1
	Discussion Skills Basic	1前		2							1
	Writing Skills (Paragraph)	1前		2							1
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	歌で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	キャリアのための英語と文化	2前		2							1
	TOEFL Preparartion Advanced Ⅰ	1前		1							1
	TOEFL Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅰ	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	TOEIC Preparartion Advanced	1前		1							1
	Media English	2前		2							1
	Academic Listening	2前後		2							1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2
	Discussion & Presentation	2後		2							1
	English for the Workplace	2後		2							1
	Essay Writing	2前後		2							2
	Intensive Reading	2前後		2							2
	World Englishes	2後		2							1
	小計（43科目）	―	4	63	0	0	0	0	0	0	23
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	フランス語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							2
	スペイン語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							3
	中国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							3
	韓国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	韓国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							1
	フランス語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							2
	スペイン語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							3
	中国語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							3

【令和２年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・英語科目	College English (Listening & Speaking) Ⅰ	1前	1								7
	College English (Reading & Writing) Ⅰ	1前	1								7
	College English (Listening & Speaking) Ⅱ	1後	1								7
	College English (Reading & Writing) Ⅱ	1後	1								7
	Intensive English Ⅰ	1前		1							1
	Intensive English Ⅱ	1後		1							1
	College English (Integrated Skills) Ⅰ	2前		1							4
	College English (Integrated Skills) Ⅱ	2後		1							4
	TOEFL Preparation Introduction	1前後		1							2
	TOEFL Preparation Intermediate	1前後		1							2
	TOEIC Preparation Introduction	1前後		1							3
	TOEIC Preparation Intermediate	1前後		1							4
	IELTS Preparation Introduction	1前後		1							2
	IELTS Preparation Intermediate	1前後		1							2
	基礎からのコミュニケーション英文法	1前後		2							2
	自分でデザインする英語学習	1前後		2							1
	英語発音トレーニング	1前後		2							1
	英語読解トレーニング	1前後		2							1
	Presentation Skills Basic	1前後		2							1
	Discussion Skills Basic	1前後		2							2
	Writing Skills (Paragraph)	1前後		2							2
	Presentation Skills Intermediate	1後		2							1
	Discussion Skills Intermediate	1後		2							1
	Writing Skills (Essay)	1後		2							1
	多読で学ぶ英語と文化Ⅰ（名称変更）	2前		2							1
	多読で学ぶ英語と文化Ⅱ	2後		2							1
	映画で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	ドラマで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	歌で学ぶ英語と文化	2前		2							1
	メディアで学ぶ英語と文化	2前		2							1
	キャリアのための英語と文化	2前		2							1
	TOEFL Preparation Advanced Ⅰ	1前		1			1				0
	TOEFL Preparation Advanced Ⅱ	1後		1			1				0
	IELTS Preparation Advanced Ⅰ	1前		1							1
	IELTS Preparation Advanced Ⅱ	1後		1							1
	TOEIC Preparation Advanced	1前後		1							1
	Media English	2前		2							1
	Academic Listening	2前後		2							1
	Cross Cultural Communication Skills	2前後		2							2
	Discussion & Presentation	2後		2							1
	English for the Workplace	2後		2							1
	Essay Writing	2前後		2							2
	Intensive Reading	2前後		2							2
	World Englishes	2後		2							1
	小計（44科目）	―	4	65	0	0	1	0	0	0	34
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	ドイツ語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	フランス語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							3
	スペイン語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							4
	中国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							4
	韓国語基礎Ａ Ⅰ	1前		1							1
	韓国語基礎Ｂ Ⅰ	1前		1							1
	ドイツ語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							1
	ドイツ語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	フランス語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							1
	フランス語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							1
	スペイン語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							3
	スペイン語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							2
	中国語基礎Ａ Ⅱ	1後		1							4
	中国語基礎Ｂ Ⅱ	1後		1							4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼担・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	韓国語基礎AⅡ	1後		1							1
	韓国語基礎BⅡ	1後		1							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼担・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	韓国語基礎AⅡ	1後		1							1
	韓国語基礎BⅡ	1後		1							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							2
	ドイツ語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							2
	ドイツ語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	ドイツ語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	フランス語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							2
	スペイン語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							2
	スペイン語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	スペイン語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							5
	中国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							5
	中国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	中国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅠ	1前		2							2
	韓国語演習コミュニケーションⅡ	1後		2							2
	韓国語演習コミュニケーションⅢ	2前		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅣ	2後		2							1
	韓国語演習コミュニケーションⅤ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習言語と文化Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	ドイツ語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	フランス語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	スペイン語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	中国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	中国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅰ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅱ	2後		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅲ	2前		2							1
	韓国語演習検定対策Ⅳ	2後		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	ドイツ語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	フランス語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	フランス語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後		1							1
	小計(101科目)	—	0	176	0	0	0	0	0	0	35
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前後		2							1
	実践話し方入門	1前後		2							1
	日本語表現講義	1後		2							1
	実践漢字講座	1後		2							1
	語彙・読解講座	1後		2							1
	古典に学ぶ日本語表現	1前後		2							1
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前後		2							2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後		2							1
	テーマ別日本語表現(成蹊俳句教室)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前後		2							1
	テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2前		2							1
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・技能・キャリア教育科目	キャリアプランニング	1前後		2							2
	ビジネストレーニングセミナー	1後		2							1
	キャリアセミナー	2前後		2							1
	グローバルキャリアセミナー	2後		2							1
	キャリア発展講義	2後		2							1
	日本企業の現状と展望	3後		2							2
	インターンシップ準備講座	3前		2							1
	インターンシップ実習	3前		2							1
	発展インターンシップ準備講座	3前		2							1
	発展インターンシップ実習	3後		2							1
	Global Career Design	3後		2							1
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	7
全学共通科目・技能・情報基盤科目	情報基礎	1前		2							2
	情報活用A	1後		2							1
	情報活用B	1後		2							1
	情報活用C	1後		2							1
	情報活用D	1後		2							1
	情報活用E	1後		2							1
	情報活用F	1後		2							1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	5
全学共通科目・技能・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1前		2							10
	健康・スポーツ演習B	1後		2							10
	スポーツと科学	1後		2							1
	健康と科学	1後		2							1
	スポーツと文化	1後		2							1
	スポーツと社会	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	10
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前後		2							1
	倫理学の基礎	1前後		2							1
	現代社会と哲学	1後		2							1
	現代社会と倫理学	1後		2							1
	文学への招待	1前後		2							1
	芸術への招待	1前後		2							2
	カルチュラル・スタディーズ	1前		2							3
	心理学の基礎	1前後		2							1
	自己理解の心理学	1前後		2							1
	教育原理	1前		2							1
	教育心理学	1前		2							1
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	14
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前後		2							1
	社会学と現代	1前後		2							2
	日本国憲法	1前後		2							2
	市民生活と法A	1前		2		1					
	市民生活と法B	1後		2		1					
	現代のマスメディア	1前		2		1					
	社会心理学入門	1前		2							1
	企業と社会	1後		2							1
	学校と社会	1後		2							1
	近現代日本史A	1前後		2							1
	近現代日本史B	1前後		2							1
	現代社会の地理	1前後		2							2
	小計(12科目)	—	0	24	0	2	0	0	0	0	11

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・外国語・初修外国語科目	フランス語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	フランス語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	スペイン語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	中国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅠ	2前		2							1
	韓国語演習プレゼンテーションⅡ	2後		2							1
	世界の言語(ロシア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(ロシア語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(タイ語Ⅱ)	1後		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅰ)	1前		1							1
	世界の言語(イタリア語Ⅱ)	1後		1							1
	小計(101科目)	—	0	176	0	0	0	0	0	0	39
全学共通科目・技能・日本語力科目	実践日本語表現	1前後		2							4
	実践話し方入門	1前後		2							1
	日本語表現講義	1前後		2							1
	実践漢字講座	1前後		2							1
	語彙・読解講座	1後		2							1
	古典に学ぶ日本語表現	1前後		2							2
	実用文書の作り方・情報の伝え方	2前後		2							2
	テーマ別日本語表現(文芸をたのしむ)	2後		2							1
	テーマ別日本語表現(成蹊俳句教室)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(源氏物語を読む)	2前		2							1
	テーマ別日本語表現(文章表現を磨く)	2前後		2							1
	テーマ別日本語表現(話し方を磨く)	2前		2							1
	小計(12科目)	—	0	24	0	0	0	0	0	0	12
全学共通科目・技能・キャリア教育科目	キャリアプランニング	1前後		2							5
	ビジネストレーニングセミナー	1後		2							2
	キャリアセミナー	2前後		2							1
	グローバルキャリアセミナー	2後		2							1
	キャリア発展講義	2後		2							1
	日本企業の現状と展望	2後		2							2
	インターンシップ準備講座	3前		2							1
	インターンシップ実習	3後		2							1
	発展インターンシップ準備講座	3前		2							1
	発展インターンシップ実習	3後		2							1
	Global Career Design	3後		2							1
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・技能・情報基盤科目	情報基礎	1前		2							3
	情報活用A	1後		2							2
	情報活用B	1後		2							1
	情報活用C	1後		2							1
	情報活用D	1後		2							1
	情報活用E	1後		2							1
	情報活用F	1後		2							1
	小計(7科目)	—	0	14	0	0	0	0	0	0	8
全学共通科目・技能・健康・スポーツ科目	健康・スポーツ演習A	1後		2							5
	健康・スポーツ演習B	1後		2							19
	スポーツと科学	1前		2							1
	健康と科学	1前		2							1
	スポーツと文化	1後		2							1
	スポーツと社会	1後		2							1
	小計(6科目)	—	0	12	0	0	0	0	0	0	19
全学共通科目・教養基礎・人文学	哲学の基礎	1前後		2							3
	倫理学の基礎	1前後		2							2
	現代社会と哲学	1後		2							1
	現代社会と倫理学	1後		2							1
	文学への招待	1前後		2			1				2
	芸術への招待	1前後		2							2
	カルチュラル・スタディーズ	1前後		2							4
	心理学の基礎	1前後		2							3
	自己理解の心理学	1前後		2							3
	教育原理	1前後		2							2
	教育心理学	1前後		2							2
	小計(11科目)	—	0	22	0	0	1	0	0	0	21
全学共通科目・教養基礎・社会科学	政治学の基礎	1前後		2							1
	社会学と現代	1前後		2							2
	日本国憲法	1前後		2							2
	市民生活と法A	1前		2		1					
	市民生活と法B	1後		2		1					
	現代のマスメディア	1前		2		1					
	社会心理学入門	1前後		2							1
	企業と社会	1前後		2							1
	学校と社会	1後		2							1
	近現代日本史A	1前		2							2
	近現代日本史B	1後		2							3
	現代社会の地理	1前後		2							2
	小計(12科目)	—	0	24	0	2	0	0	0	0	14

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1前		2							1
	人間と進化	1後		2							1
	脳科学と心	1後		2							1
	天文学入門	1前		2							2
	薬はなぜ効くか	1後		2							1
	身の回りの科学	1前		2							1
	科学史	1前		2							1
	科学技術の発展と歴史	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（熱と光の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（物質の科学）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（数の世界）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（生命の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための数学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための科学実験）	1後		2							2
	小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目・持続社会探究・環境・地域	地球と環境	2前		2							1
	気象と地球環境	2後		2			1				
	自然環境と文明	2前		2							1
	日本列島の歴史と災害	2前		2							1
	日本の国土と社会	2前後		2		1					
	外国の自然と社会A	2後		2							1
	外国の自然と社会B	2前		2							1
	地域づくり論	2前		2							1
	環境科学トピックス（生命と環境）	2前		2							1
	環境科学トピックス（食料と環境）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	1	1	0	0	0	7
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後		2							1
	近現代のアジアA	2前		2							1
	近現代のアジアB	2後		2							1
	近現代の欧米A	2前		2							1
	近現代の欧米B	2後		2							1
	中東地域史	2前		2							1
	現代の国際政治	2前		2							1
	グローバル経済論	2前		2		1					
	国際文化交流論	2後		2							1
	異文化理解トピックス（ドイツ語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（フランス語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（スペイン語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（中国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（韓国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（イスラーム世界）	2後		2							1
	小計（15科目）	—	0	30	0	1	0	0	0	0	12
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後		2							1
	生命倫理と法	2後		2							1
	地域福祉論	2前		2							1
	人権とジェンダー	2前		2							1
	こころの健康と臨床	2前		2							1
	老人福祉論	2前		2							1
	福祉社会に生きる	2後		2							1
	特別支援教育概論	2前		2							1
	共生社会トピックス（アートと社会）	2前		2							1
	共生社会トピックス（日本女性史）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1前		2							1
	野外自然教育論	1前		2							1
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2							1
	大学生活と相互理解	1後		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1
	武蔵野地域連携セミナー	1後		2							1
	Global Studies Seminar Ⅰ（Academic Study Abroad Preparation）	1前		2							1
	Global Studies Seminar Ⅱ（Global Citizenship）	1後		2							1
	Global Studies Seminar Ⅲ（Japanese Culture）	2前		2							1
	小計（13科目）	—	0	26	0	0	0	0	0	0	13
全学共通科目　小計（265科目）			4	481	0	4	1	0	0	0	154

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
全学共通科目・教養基礎・自然科学	物質の究極像	1後		2							1
	人間と進化	1後		2							1
	脳科学と心	1前後		2							1
	天文学入門	1前		2							2
	薬はなぜ効くか	1後		2							1
	身の回りの科学	1前		2							1
	科学史	1前		2							1
	科学技術の発展と歴史	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（熱と光の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（物質の科学）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（数の世界）	1前		2							1
	サイエンス・トピックス（生命の科学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための数学）	1後		2							1
	サイエンス・トピックス（文系のための科学実験）	1後		2							2
	小計（14科目）	—	0	28	0	0	0	0	0	0	16
全学共通科目・持続社会探究・環境・地域	地球と環境	2前		2							1
	気象と地球環境	2後		2		1	0				
	自然環境と文明	2前		2							1
	日本列島の歴史と災害	2前		2							1
	日本の国土と社会	2前後		2		1					
	外国の自然と社会A	2後		2							1
	外国の自然と社会B	2前		2							1
	地域づくり論	2前		2							1
	環境科学トピックス（生命と環境）	2前		2							1
	環境科学トピックス（食料と環境）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	2	0	0	0	0	7
全学共通科目・持続社会探究・国際理解	戦後の日本と世界	2前後		2							1
	近現代のアジアA	2前		2							1
	近現代のアジアB	2後		2							1
	近現代の欧米A	2前		2							1
	近現代の欧米B	2後		2							1
	中東地域史	2前		2							1
	現代の国際政治	2前		2							1
	グローバル経済論	2前		2		1					
	国際文化交流論	2後		2							1
	異文化理解トピックス（ドイツ語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（フランス語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（スペイン語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（中国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（韓国語圏）	2後		2							1
	異文化理解トピックス（イスラーム世界）	2後		2							1
	小計（15科目）	—	0	30	0	1	0	0	0	0	12
全学共通科目・持続社会探究・人権・共生	裁判と社会	2後		2							1
	生命倫理と法	2後		2							1
	地域福祉論	2前		2							1
	人権とジェンダー	2前		2							1
	こころの健康と臨床	2前		2							1
	高齢者福祉論（名称変更）	2前		2							1
	福祉社会に生きる	2後		2							1
	特別支援教育概論	2前		2							1
	共生社会トピックス（アートと社会）	2前		2							1
	共生社会トピックス（日本女性史）	2後		2							1
	小計（10科目）	—	0	20	0	0	0	0	0	0	9
全学共通科目・持続社会探究・実践	成蹊を知る	1後		2							1
	情報保障とボランティア	1後		2							1
	野外自然教育論（未開講）	休講		2							0
	地元学実践演習	1後		2							1
	武蔵野地域研究	1後		2							1
	武蔵野市寄附講座	1後		2							1
	大学生活と相互理解	1後		2							2
	成蹊グローバルセミナーA	1前		2							1
	成蹊グローバルセミナーB	1後		2							1
	武蔵野地域連携セミナー	1前後		2							3
	Global Studies Seminar Ⅰ（Academic Study Abroad Preparation）	1前		2							1
	Global Studies Seminar Ⅱ（Global Citizenship）	1後		2							2
	Global Studies Seminar Ⅲ（Japanese Culture）	2前		2							1
	小計（13科目）	—	0	26	0	0	0	0	0	0	15
全学共通科目　小計（266科目）			4	483	0	5	1	0	0	0	198

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
専門科目・ゼミナール科目	基礎ゼミナール	1前	2			7	1		1		10
	プレゼンテーション演習	2前		2			1				
	上級ゼミナールⅠ	3前	2			6	1				
	上級ゼミナールⅡ	3後	2			6	1				
	経済学ワークショップ	3通		4		1					
	卒業研究	4通	4			6	1				
	小計(6科目)		10	6	0	8	1	0	1	0	10
専門科目・コミュニティ研究科目・サステナビリティ経済科目地域	フィールドワークの技法	1後		2		1					
	社会調査の技法	2前		2		1					
	地域研究法	2前		2							1
	情報分析ゼミナール(産業連関分析)	2前		2		1					
	実践ゼミナールA	2前		2		1					
	実践ゼミナールB	2前		2		1					
	コミュニティ研究ゼミナール	2前		2		1					1
	GISゼミナール	2前		2			1				
	小計(8科目)		0	16	0	4	1	0	0	0	2
専門科目・サステナビリティ研究科目・グローバル経済科目	エリア・スタディーズA	2前		2							1
	エリア・スタディーズB	2前		2		1					
	文化と経済(欧米世界)	2前		2							1
	国際理解ゼミナール	2前		2		1					1
	Special Lectures on International	2前		2		1					
	Special Lecture on Global Economy	2前		2		1					
	グローバル特殊講義(国際労働市場)	2前		2		1					
	グローバル特殊講義(統計でまなぶ世界経済)	2前		2							1
	外国語短期研修	2前		2		1					
	小計(9科目)	―	0	18	0	3	0	0	0	0	4
専門科目・基盤科目・基盤Ⅰ	初級ミクロ経済学Ⅰ	1前		2							1
	初級マクロ経済学Ⅰ	1前		2		1			1		
	初級統計学Ⅰ	1前		2							1
	初級経済数学	1前		2							1
	初級ミクロ経済学Ⅱ	1後		2							1
	初級マクロ経済学Ⅱ	1後		2							1
	初級統計学Ⅱ	1後		2							1
	社会経済地理学	1後		2		1					
	小計(8科目)	―	0	16	0	2	0	0	1	0	4
専門科目・基盤科目・基盤Ⅱ	中級ミクロ経済学	2前		2							1
	中級マクロ経済学	2前		2					1		1
	中級経済数学	2前		2							1
	中級計量経済学	2前		2		1					
	ゲーム理論	2前		2							1
	応用計量経済学	2後		2		1					
	国際マクロ経済学	2前		2		1					1
	行動経済学	2前		2							1
	情報の経済学	2後		2							1
	経済発展論	2前		2							1
	人口学	2前		2							1
	社会学	2前		2		1					
	小計(12科目)	―	0	24	0	3	0	0	1	0	7
専門科目・総合科目・制度・歴史	経済史の基礎	1後		2							1
	現代日本経済	2後		2		1					
	数量経済史	2前		2		1					
	日本経済史A	2前		2		1					
	日本経済史B	2後		2		1					
	西洋経済史A	2前		2							1
	西洋経済史B	2後		2							1
	比較経済史	2前		2							1
	経済学史	2前		2							1
	地域経済史	2前		2							1
	社会思想史	2後		2		1					
	社会史	2前		2		1					
	総合特殊講義(家族関係と法)	2前		2		1					
	小計(13科目)	―	0	26	0	3	0	0	0	0	2
専門科目・総合科目・社会	労働法	2後		2							1
	企業会計	2前		2							1
	社会理解実践講義	2前		2							1
	経済実務講義	2前		2							1
	小計(4科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・企業経済科目	産業組織論A	2前		2		1					
	産業組織論B	2後		2		1					
	組織の経済学	2後		2		1					
	法と経済	2後		2		1					
	国際経済学A	2前		2		1					
	国際経済学B	2後		2		1					
	労働経済学	2後		2							1
	企業を取り巻く法律	2前		2							1
	企業経済特殊講義(観光と経済)	2前		2		1					
	企業経済特殊講義(企業の社会的責任)	2前		2							1
	小計(10科目)	―	0	20	0	3	0	0	0	0	3
専門科目・応用発展科目・金融経済科目	ファイナンスA	2前		2		1					
	ファイナンスB	2後		2		1					
	金融論A	2前		2							1
	金融論B	2後		2							1
	金融に関する法律	2前		2							1
	国際金融論	2後		2		1					1
	小計(6科目)	―	0	12	0	2	0	0	0	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
専門科目・ゼミナール科目	基礎ゼミナール	1前	2			3	1		1		7
	プレゼンテーション演習	2前		2		1	0				
	上級ゼミナールⅠ	3前	2			7	0				
	上級ゼミナールⅡ	3後	2			7	0				
	経済学ワークショップ	3通		4		1					
	卒業研究	4通	4			7	0				
	小計(6科目)		10	6	0	7	1	0	1	0	7
専門科目・コミュニティ研究科目・サステナビリティ経済科目地域	フィールドワークの技法	1後		2		1					
	社会調査の技法	2前		2		1					
	地域研究法	2前		2							1
	情報分析ゼミナール(産業連関分析)	2前		2		1					
	実践ゼミナールA	2前		2		1					
	実践ゼミナールB	2前		2		1					
	コミュニティ研究ゼミナール	2前		2		1					1
	GISゼミナール	2前		2		1	0				
	小計(8科目)		0	16	0	5	0	0	0	0	2
専門科目・サステナビリティ研究科目・グローバル経済科目	エリア・スタディーズA	2前		2							1
	エリア・スタディーズB	2前		2		1					
	文化と経済(欧米世界)	2前		2							1
	国際理解ゼミナール	2前		2		1					1
	Special Lectures on International	2前		2		1					
	Special Lecture on Global Economy	2前		2		1					
	グローバル特殊講義(国際労働市場)	2前		2		1					
	グローバル特殊講義(統計でまなぶ世界経済)	2前		2							1
	外国語短期研修	2前		2		1					
	小計(9科目)	―	0	18	0	3	0	0	0	0	4
専門科目・基盤科目・基盤Ⅰ	初級ミクロ経済学Ⅰ	1前		2							1
	初級マクロ経済学Ⅰ	1前		2		0			1		
	初級統計学Ⅰ	1前		2							1
	初級経済数学	1前		2							1
	初級ミクロ経済学Ⅱ	1後		2							1
	初級マクロ経済学Ⅱ	1後		2							1
	初級統計学Ⅱ	1後		2							1
	社会経済地理学	1後		2		1					
	小計(8科目)	―	0	16	0	1	0	0	1	0	5
専門科目・基盤科目・基盤Ⅱ	中級ミクロ経済学	2前		2							1
	中級マクロ経済学	2前		2					1		0
	中級経済数学	2前		2							1
	中級計量経済学	2前		2		1					
	ゲーム理論	2前		2							1
	応用計量経済学	2後		2		1					
	国際マクロ経済学	2前		2		1					1
	行動経済学	2前		2							1
	情報の経済学	2後		2							1
	経済発展論	2前		2							1
	人口学	2前		2							1
	社会学	2前		2		1					
	小計(12科目)	―	0	24	0	3	0	0	1	0	7
専門科目・総合科目・制度・歴史	経済史の基礎	1後		2							1
	現代日本経済	2後		2		1					
	数量経済史	2前		2		1					
	日本経済史A	2前		2		1					
	日本経済史B	2後		2		1					
	西洋経済史A	2前		2							1
	西洋経済史B	2後		2							1
	比較経済史	2前		2							1
	経済学史	2前		2							1
	地域経済史	2前		2							1
	社会思想史	2後		2		1					
	社会史	2前		2		1					
	総合特殊講義(家族関係と法)	2前		2		1					
	小計(13科目)	―	0	26	0	3	0	0	0	0	3
専門科目・総合科目・社会	労働法	2後		2							1
	企業会計	2前		2							1
	社会理解実践講義	2前		2							1
	経済実務講義	2前		2							1
	小計(4科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・企業経済科目	産業組織論A	2前		2		1					
	産業組織論B	2後		2		1					
	組織の経済学	2後		2		1					
	法と経済	2後		2		1					
	国際経済学A	2前		2		1					
	国際経済学B	2後		2		1					
	労働経済学	2後		2							1
	企業を取り巻く法律	2前		2							1
	企業経済特殊講義(観光と経済)	2前		2		1					
	企業経済特殊講義(企業の社会的責任)	2前		2							1
	小計(10科目)	―	0	20	0	3	0	0	0	0	3
専門科目・応用発展科目・金融経済科目	ファイナンスA	2前		2		1					
	ファイナンスB	2後		2		1					
	金融論A	2前		2							1
	金融論B	2後		2							1
	金融に関する法律	2前		2							1
	国際金融論	2後		2		1					1
	小計(6科目)	―	0	12	0	2	0	0	0	0	3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
専門科目・応用発展科目・地域・環境科目	環境経済学A	2前		2							1
	環境経済学B	2後		2							1
	都市経済学	2後		2							1
	経済地理学A	2前		2		1					
	経済地理学B	2後		2		1					
	地球環境問題	2前		2			1				
	資源経済学	2前		2							1
	環境と法	2前		2		1					
	地域・環境特殊講義（環境社会学の基礎）	2前		2		1					
	地域・環境特殊講義（交通経済学）	2前		2							1
	小計（10科目）	―	0	18	0	3	1	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・公共政策科目	財政学A	2前		2							1
	財政学B	2後		2							1
	公共経済学	2後		2							1
	教育経済学	2後		2							1
	社会保障論A	2前		2							1
	社会保障論B	2後		2							1
	医療経済学	2前		2							1
	ベーシック民法	2前		2		1					
	公共政策特殊講義	2後		2							1
	政策課題演習	3前		2		1					
	小計（10科目）	―	0	20	0	1	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・EAGLE国際教養科目	International Business	2前		2							1
	Japanese Economy	2前		2							1
	Current Topics in Business and Economics	2前		2							1
	International Relations	2後		2							1
	Regional Studies	2前		2							1
	Current Topics in Global Issues	2前		2							1
	Japanese Contemporary Issues	2後		2							1
	Japanese Traditional Culture	2後		2							1
	Current Topics in World Affairs	2前		2							1
	小計（9科目）	―	0	18	0	0	0	0	0	0	8
専門科目・広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前		2							1
	日本史概論Ⅱ	2後		2							1
	世界史概論Ⅰ	2前		2							1
	世界史概論Ⅱ	2後		2							1
	人文地理学	2前		2		1					
	自然地理学	2後		2			1				
	地誌学	2後		2							1
	現代の政治学	2後		2							1
	小計（8科目）	―	0	16	0	1	1	0	0	0	4
教職課程の大学が独自に設定する科目	教職特論演習Ⅰ	3後			2						1
	教職特論演習Ⅱ	4前			2						1
	学校経営と学校図書館	2前			2						1
	学校図書館メディアの構成	2後			2						1
	学習指導と学校図書館	2前			2						1
	読書と豊かな人間性	2後			2						1
	情報メディアの活用	2後			2						1
	小計（7科目）	―	0	0	14	0	0	0	0	0	4
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	道徳教育の指導法	3前			2						2
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3前			2						1
	教育方法論	2前			2						4
	生徒・進路指導論	1後			2						1
	教育相談	2前			2						2
	教育実習論	3後			1						3
	教育実習（中・高）	4通			5						3
	教育実習（高）	4通			3						3
	教職実践演習（中・高）	4後			2						4
	社会科教育法A	3前			2						1
	社会科教育法B	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法	2後			2						1
	社会科・公民科教育法	2後			2						1
	地理歴史科教育法	3後			2						1
	公民科教育法	3後			2						1
	小計（18科目）	―	0	0	39	0	0	0	0	0	8
専門科目　小計（138科目）		―	10	218	53	8	1	0	1	0	47
合計（403科目）		―	14	699	0	8	1	0	1	0	191

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼担・兼任
専門科目・応用発展科目・地域・環境科目	環境経済学A	2前		2							1
	環境経済学B	2後		2							1
	都市経済学	2後		2							1
	経済地理学A	2前		2		1					
	経済地理学B	2後		2		1					
	地球環境問題	2前		2		1	0				
	資源経済学	2前		2							1
	環境と法	2前		2		1					
	地域・環境特殊講義（環境社会学の基礎）	2前		2		1					
	地域・環境特殊講義（交通経済学）	2前		2							1
	小計（10科目）	―	0	18	0	4	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・公共政策科目	財政学A	2前		2							1
	財政学B	2後		2							1
	公共経済学	2後		2							1
	教育経済学	2後		2							1
	社会保障論A	2前		2							1
	社会保障論B	2後		2							1
	医療経済学	2前		2							1
	ベーシック民法	2前		2		1					
	公共政策特殊講義	2後		2							1
	政策課題演習	3前		2		1					
	小計（10科目）	―	0	20	0	1	0	0	0	0	4
専門科目・応用発展科目・EAGLE国際教養科目	International Business	2前		2							1
	Japanese Economy	2前		2							1
	Current Topics in Business and Economics	2前		2							1
	International Relations	2後		2							1
	Regional Studies	2前		2							1
	Current Topics in Global Issues	2前		2							1
	Japanese Contemporary Issues	2後		2							1
	Japanese Traditional Culture	2後		2							1
	Current Topics in World Affairs	2前		2							1
	小計（9科目）	―	0	18	0	0	0	0	0	0	8
専門科目・広域基礎科目	日本史概論Ⅰ	2前		2							1
	日本史概論Ⅱ	2後		2							1
	世界史概論Ⅰ	2前		2							1
	世界史概論Ⅱ	2後		2							1
	人文地理学	2前		2		1					
	自然地理学	2後		2		1	0				
	地誌学	2後		2							1
	現代の政治学	2後		2							1
	小計（8科目）	―	0	16	0	2	0	0	0	0	4
教職課程の大学が独自に設定する科目	教職特論演習Ⅰ	3後			2						1
	教職特論演習Ⅱ	4前			2						1
	学校経営と学校図書館	2前			2						1
	学校図書館メディアの構成	2後			2						1
	学習指導と学校図書館	2前			2						1
	読書と豊かな人間性	2後			2						1
	情報メディアの活用	2後			2						1
	小計（7科目）	―	0	0	14	0	0	0	0	0	4
教職の教科及び教職に関する科目	教職論	1前後			2						1
	教育課程論	2前			2						1
	道徳教育の指導法	3前			2						2
	総合的な学習の時間の指導法	3前			2						1
	特別活動の指導法	3前			2						1
	教育方法論	2前			2						4
	生徒・進路指導論	1集中			2						2
	教育相談	2前			2						2
	教育実習論	3後			1						3
	教育実習（中・高）	4通			5						3
	教育実習（高）	4通			3						3
	教職実践演習（中・高）	4後			2						4
	社会科教育法A	3前			2						1
	社会科教育法B	3前			2						1
	社会科・地理歴史科教育法	2後			2						1
	社会科・公民科教育法	2後			2						1
	地理歴史科教育法	3後			2						1
	公民科教育法	3後			2						1
	小計（18科目）	―	0	0	39	0	0	0	0	0	9
専門科目　小計（138科目）		―	10	218	53	9	1	0	1	0	49
合計（404科目）		―	14	701	0	9	1	0	1	0	237

卒業要件及び履修方法
4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。 （1）全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。 ①「外国語（英語科目、初修外国語科目）」「技能（日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目）」から16単位以上（このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上） ②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上 （2）現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。 ①「ゼミナール科目」：必修科目10単位 ②「サステナビリティ研究科目」 地域コミュニティ経済科目：6単位以上 グローバル経済科目：6単位以上 ③「基盤科目」 基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上 ④「総合科目」：制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上 ④「応用発展科目」 企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上 （3）卒業に必要な単位124単位のうち、（1）（2）から規定単位数を差し引いた残り20単位については、（1）（2）において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。 （履修科目の登録の上限：40単位（年間））

卒業要件及び履修方法
4年以上在学し、かつ、次のすべての要件を満たした上で、124単位以上を修得すること。 （1）全学共通科目にあっては、次の要件を満たした上で28単位以上修得すること。 ①「外国語（英語科目、初修外国語科目）」「技能（日本語力科目、キャリア教育科目、情報基盤科目、健康・スポーツ科目）」から16単位以上（このうち英語科目を必修4単位を含め6単位以上） ②「教養基礎」「持続社会探究」から8単位以上 （2）現代経済学科専門科目にあっては、次の要件を満たした上で76単位以上修得すること。 ①「ゼミナール科目」：必修科目10単位 ②「サステナビリティ研究科目」 地域コミュニティ経済科目：6単位以上 グローバル経済科目：6単位以上 ③「基盤科目」 基盤Ⅰから12単位以上および基盤Ⅱから6単位以上含み、基盤ⅠとⅡの合計が20単位以上 ④「総合科目」：制度・歴史から4単位以上を含み、6単位以上 ④「応用発展科目」 企業経済科目、金融経済科目、地域・環境科目、公共政策科目から各4単位以上を含み、26単位以上 （3）卒業に必要な単位124単位のうち、（1）（2）から規定単位数を差し引いた残り20単位については、（1）（2）において規定単位数以上を修得した科目の単位を合計する。 （履修科目の登録の上限：40単位（年間））

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・　認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
・　「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
・　１ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）
・　専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【令和２年度】

（別紙　EC令2-1）のとおり。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
8 科目	370 科目	25 科目	403 科目	8 科目 [　　]	371 科目 [　1　]	25 科目 [　　]	404 科目 [　1　]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	野外自然教育論	2	1前	一般	選択	新型コロナウィルスの影響により、フィールドワーク等実践を行うことができない等の理由のため。
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該科目はフィールドワークを用いる予定の授業であったが、新型コロナウィルスの影響による外出自粛のためそれを行うことができず、この科目の目的目標を達成することができないため休講とした。次年度以降、通常授業体制で行うことができれば開講予定である。当該学生には履修登録前にポータルサイト等で周知済みである。

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{1}{403} = 0.24\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	成蹊高等学校（必要面積13,704㎡）(収容定員：966人)と共用 成蹊中学校（必要面積12,924㎡）(収容定員：801人)と共用 成蹊小学校（必要面積10,620㎡）(収容定員：720人)と共用
	校舎敷地	78,816.78㎡	0㎡	51,241.63㎡	130,058.41㎡	
	運動場用地	87,580.85㎡	0㎡	18,671.01㎡	106,251.86㎡	
	小計	166,397.63㎡	0㎡	69,912.64㎡	236,310.27㎡	
	その他	8,256.21㎡	237,813.30㎡	0㎡	246,069.51㎡	
	合計	174,653.84㎡	237,813.30㎡	69,912.64㎡	482,379.78㎡	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
		92,528.93㎡ (92,528.93㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	92,528.93㎡ (92,528.93㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体
	70室	46室	211室	~~9室~~8室 (補助職員　人)	~~5室~~6室 (補助職員　人)	語学学習施設から情報処理学習施設に用途変更したため(2)。

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	
	経済学部　経済数理学科	10	室
	経済学部　現代経済学科	~~14~~ 15	室

令和2年4月 現代経済学科専任准教授１名を新規採用のため (2)

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分
	経済学部	70,049〔33,974〕 ~~(67,267〔33,361〕)~~ (66,763〔33,192〕)	788〔300〕 ~~(788〔300〕)~~ (88〔29〕)	73〔73〕 ~~(73〔73〕)~~ (118〔118〕)	29,937 ~~(27,265)~~ (39,718)	284 ~~(284)~~ (252)	0 (0)	図書 179,214〔44,851〕 ~~(172,298〔44,332〕)~~ (86,127〔12,096〕)
	計	70,049〔33,974〕 ~~(67,267〔33,361〕)~~ (66,763〔33,192〕)	788〔300〕 ~~(788〔300〕)~~ (88〔29〕)	73〔73〕 ~~(73〔73〕)~~ (118〔118〕)	29,937 ~~(27,265)~~ (39,718)	284 ~~(284)~~ (252)	0 (0)	

変更理由は、「７その他全般的事項」（１） 設置計画変更事項等　に記載(2)。

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数
	11,925.03㎡	1,032	~~1,700,000~~ 1,390,000

2020年2月に関係する書架のすべての点検を行った結果、収納可能冊数が変更となった(2)。

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要
	5006.6㎡	野球場 1面、サッカー場 1面、テニスコート 1面、卓球場 1棟 ハンドボールコート 1面、アーチェリー射場 1面、弓道場 1面

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
経費の見積り	教員１人当り研究費等	~~1,068千円~~ 1,017千円	~~1,068千円~~ 1,017千円	図書購入費	~~7,372千円~~ 5,211千円	~~7,372千円~~ 5,276千円	~~7,372千円~~ 5,940千円	変更理由は、「７その他全般的事項」（１） 設置計画変更事項等　に記載(2)。
	共同研究費等	~~1,305千円~~ 1,360千円	~~1,305千円~~ 1,117千円	設備購入費	~~8,209千円~~ 26,948千円	~~8,209千円~~ 20,733千円	~~8,209千円~~ 21,014千円	図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費（運用コストを含む）を含む。

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和２年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（２）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	成蹊大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度	年度	年度	
経済学部	4	－	－	2000	－	－	－	－	昭和43	－	令和２年学生募集停止
経済経営学科	4	－	－	2000	学士（経済学）	－	－	平成30	平成16	東京都武蔵野市吉祥寺北町３丁目３番１号	
経済学部	4	230	－	920	－	1.01	1.01	－	令和2	－	令和2年設置
経済数理学科	4	80	－	320	学士（経済学）	1.08	1.08	－	令和2	同上	令和2年設置
現代経済学科	4	150	－	600	学士（経済学）	0.97	0.97	－	令和2	同上	令和2年設置
理工学部	4	400	－	1600	－	1.01	0.99	－	－	－	
物質生命理工学科	4	125	－	500	学士（理工学）	0.98	0.99	令和2	平成17	同上	定員変更（△8）
情報科学科	4	150	－	600	学士（理工学）	1.05	1.01	令和2	平成17	同上	定員変更（ 16）
ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	125	－	500	学士（工学）	0.99	0.97	令和2	平成17	同上	定員変更（△8）
文学部	4	420	－	1680	－	1.02	1.02	－	昭和40	－	
英語英米文学科	4	121	－	484	学士（文学）	1.01	1.00	－	昭和40	同上	
日本文学科	4	84	－	336	学士（文学）	1.05	1.04	－	昭和40	同上	
国際文化学科	4	110	－	440	学士（文学）	1.00	1.00	－	平成12	同上	
現代社会学科	4	105	－	420	学士（文学）	1.02	1.05	－	平成12	同上	
法学部	4	440	－	1760	－	1.02	1.07	－	昭和43	－	
法律学科	4	280	－	1120	学士（法学）	1.02	1.07	平成30	昭和43	同上	
政治学科	4	160	－	640	学士（政治学）	1.02	1.07	平成30	昭和43	同上	
経営学部	4	290	－	1160	－	1.04	1.04	－	令和2	－	令和2年設置
総合経営学科	4	290	－	1160	学士（経営学）	1.04	1.04	－	令和2	同上	令和2年設置
大学全体	4	1780	－	7120	－	1.01	1.02	－	－	－	

大学の名称	成蹊大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍		年度	年度	年度	
理工学研究科 理工学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成21	－	
博士前期課程	2	70	－	140	修士（理工学）又は修士（工学）	0.90	0.82	－	平成21	同上	
博士後期課程	3	10	－	30	博士（理工学）又は博士（工学）	0.20	0.20	－	平成21	同上	
経済経営研究科 経済学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成19	－	
博士前期課程	2	6	－	12	修士（経済学）	0.41	0.50	－	平成19	同上	
博士後期課程	3	3	－	9	博士（経済学）	0.00	0.00	－	平成19	同上	
経営学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成19	－	
博士前期課程	2	10	－	20	修士（経営学）	0.45	0.50	－	平成19	同上	
博士後期課程	3	3	－	9	博士（経営学）	0.00	0.00	－	平成19	同上	
法学政治学研究科 法律学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和45	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（法学）	0.00	0.00	－	昭和45	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（法学）	0.08	0.00	－	昭和47	同上	
政治学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和47	－	
博士前期課程	2	4	－	8	修士（政治学）	0.25	0.00	－	昭和47	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士（政治学）	0.00	0.00	－	昭和48	同上	
文学研究科 英米文学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和46	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（文学）	0.00	0.00	－	昭和46	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（文学）	0.16	0.25	－	平成10	同上	
日本文学専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	昭和46	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（文学）	0.43	0.37	－	昭和46	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（文学）	0.00	0.00	－	平成3	同上	
社会文化論専攻	－	－	－	－	－	－	－	－	平成3	－	
博士前期課程	2	8	－	16	修士（学術）	0.12	0.12	－	平成3	同上	
博士後期課程	3	4	－	12	博士（学術）	0.16	0.25	－	平成3	同上	
法務研究科 法務専攻	3	－	－	－	法務博士（専門職）	－	－	－	平成16	同上	平成29年度より学生募集停止
大学院全体（博士前期課程）	2	122	－	244	－	0.31	0.28	－	－	－	
大学院全体（博士後期課程）	3	34	－	102	－	0.07	0.08	－	－	－	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「平均入学定員超過率」には、報告年度（令和２年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

〈経済学部現代経済学科〉

（１）－①担当教員表
個人情報を含むため公表しません。（P．６０～P．７８）

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【令和２年度】

（別紙　EC令2-2）のとおり。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。**ＡＣ教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成３０年度開設であれば平成２９年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
10 名	5 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	助手（A'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）	助手（B'）
8	1	0	1	10	0	9	1	0	1	11	0
(9)	(1)	(0)	(0)	(10)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	助手（C'）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）	助手（D'）
9	1	0	1	11	0	9	1	0	1	11	0
[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[0]	[1]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	1 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{10} = 110\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{11} = 0\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑥　設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \text{\#DIV/0!}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由　該当なし

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					

合計（D）		後任補充状況の集計（E）			
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況　該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					

合計（F）		後任補充状況の集計（G）			
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）		後任補充状況の集計（E）＋（G）			
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0　人	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	必修　0　科目	
	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	選択　0　科目	
	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	自由　0　科目	
	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	計　0　科目	

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{0}{10} = 0\%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（3）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況　該当なし

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし				

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人		必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
		選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
		自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
		計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（4）　専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

（注）・　上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等	履　行　状　況	今後の の実施計画
認　可　時 （令和元年）	該当なし。	該当なし。	該当なし。

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

７　その他全般的事項

＜経済学部　現代経済学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
施設・設備の整備状況、経費の変更 【(5)図書・設備】 図書　　67,267冊（うち外国書33,361冊） 学術雑誌　　788種（うち外国書300種） 電子ジャーナル　73（うち外国書73） 視聴覚資料　27,265点 機械・器具　284点 大学全体での共用分図書　172,298（うち外国書44,332） 【(8)経費の見積り及び維持方法の概要】 【教員１人当たりの研究費等】 開設年度　:1,068千円 完成年度　:1,068千円 【共同研究費】 開設年度　:1,305千円 完成年度　:1,305千円 【図書購入費】 開設前年度:7,372千円 開設年度　:7,372千円 完成年度　:7,372千円 【設備購入費】 開設前年度:8,209千円 開設年度　:8,209千円 完成年度　:8,209千円	66,763冊（うち外国書33,192冊） 10年前以上に購入した図書で、主に複数所有のものの冊数の見直し、除籍を行った結果、当初計画より冊数が減少した。 88種（うち外国書29種） 包括的契約の電子媒体への移行により、紙媒体での単独契約を行うタイトルが減少していること、大学紀要など機関リポジトリによる配信が行われる媒体について紙媒体の購読を停止していること及び購読雑誌の定期的な見直しの結果、種類としては減少した。ただし、包括契約1種類で複数種類の雑誌を扱っているものが多いため、これに伴うサービス低下はない。 118（うち外国書118） 学術雑誌の移行に伴い、取扱い数が増加した。 39,718点 算出方法を見直し、改めて集計した結果、上記のとおりとなった。 252点 図書館で管理していた学生向け貸し出し用PCが、令和2年度から大学での一括管理（管理部署：高等教育開発・支援センター）となったため減少した。ただし、これによる学生サービスへの支障はない。 86,127（12,096） 算出方法を見直し、改めて集計した結果、上記のとおりとなった。これに伴うサービス低下はない。 開設年度　:1,017千円 完成年度　:1,017千円 本学の教員1人当たりの研究費等のうち、個人研究費以外の予算は教員数で按分することになるが、2020年度は専任教員数の増加があり、その影響により1名あたりの研究費等が減少した。 開設年度　:1,360千円 完成年度　:1,117千円 過年度実績及び次年度の研究プロジェクトの計画に基づき予算を設定しているため予算の増減が発生する。実績・計画に基づく変更のため、これによる研究環境への影響はない。 開設前年度:5,211千円 開設年度　:5,276千円 完成年度　:5,940千円 図書購入費は当初計画時より減少しているが、刊行物購入費は増加傾向にあり、図書と刊行物の購入費の合計では支出額に大きな増減はなく研究・教育環境への影響はない。刊行物購入費が増加している理由の1つとして、電子刊行物への支出が増加していることが挙げられる。 開設前年度:26,948千円 開設年度　:20,733千円 完成年度　:21,014千円 開設前年度にあたる2019年度に大規模なICT環境整備を行い、教育研究用機器の支出が大幅に増加した。第１年次にあたる2020年度以降もICT環境整備の継続が見込まれるため増額の修正とした。

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制
ａ 委員会の設置状況
FDについては、本学部では （別紙 EC令2-3）のとおり、FD委員会を設置している。
SDについては、本学では学部ごとではなく全学体制で行っている。

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
FD委員会は、本学部、経営学部（令和2年度設置）及び経済学部（令和2年学生募集停止、以下「旧経済学部」という。）合同で行う。
本学部のFD委員は、学部長、大学評議員、学科主任、教務委員長、教務副委員長の役職者等及び役職に就いていない本学部の専任教員のうちから学部長が指名する若干名で構成する。
原則として、教務委員会とあわせて行う。年間16回を予定している。

ｃ 委員会の審議事項等
FD委員会の審議事項は、FD委員会規則に次のように定めている。
（1）本学部における教育活動の改善に関する事項
（2）学生による授業評価の結果分析及び活用に関する事項
（3）FD活動の点検・評価に関する事項
（4）その他学部長が必要と認めた事項

この定めに基づき、令和元年度の旧経済学部FD委員会では、次の事項についての審議等を行った。
ティーチングアウォード（教員顕彰）候補者選定、推薦
研究倫理
FD研修の年間計画の策定
FD研修の内容策定、運営（2019年度はシラバスワークショップを実施）
父母懇談会におけるアンケートの結果の検討、分析
授業評価アンケート結果の分析
シラバス関係（取りまとめ、第三者チェックの運用主体）
カリキュラム運営に係る申合せの見直し

② 実施状況
【FD】
ａ 実施内容
上記のFD委員会で内容を策定したFD研修について、令和元年度の旧経済学部では「シラバスワークショップ」を実施した。
ｂ 実施方法
令和元年度の旧経済学部では、教授会開催日に、教授会に先立ち集合形式で開催した。
ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）
ほぼ全員が参加した。
ｄ 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
参加したほとんどの教員から、「シラバスの重要性を再確認できた」「シラバス作成上のポイントを再確認できた」「自分が作成したシラバスを振り返り、改善ポイントを発見できた」等のフィードバックがあった。また、自身のシラバスにおける具体的改善点を発見した教員は、到達目標の具体化や学生目線での記載、事前学習の詳細な記載などの修正方針もフィードバックしていた。

【SD】
ａ 実施内容
成蹊大学SD（Staff Development）実施方針を定め（別紙 EC令2-4）、これに基づき毎年実施計画を策定（別紙 EC令2-5）した上でSDを実施している。
2016年度から19年度までで、9回、4回、6回、6回と計25回開催した。運営の所管は学長室総合企画課。
研修テーマは、大学の教育研究活動及び教学マネジメントに関し、より適切かつ効果的な運営ができるよう、職員が必要な知識及び技能を習得するとともに、その能力及び資質の向上をめざすという目的（方針）を達成するため、以下のいずれかに該当するものとする。
① 3つのポリシーに基づく本学の自己点検・評価と内部質保証に関するもの
② 教学マネジメントに関わる専門的職員の育成に関するもの
③ 大学改革に関するもの
④ 学生の厚生補導に関するもの
⑤ 業務領域の知見の獲得を目的とするもの（総務、財務、人事、企画、教務、研究等）
⑥ その他（本学独自の業務に関するもの、時流に対応したもの等）

ｂ 実施方法
原則として、会議室ないしは教室での研修会。

ｃ 開催状況（教員の参加状況含む）
2019年度に開催したSDは、次のとおりである。なお、参加者数については、教員・職員分け隔てなく参加募集をしていることもあり、分けての集計は行っていない。
第1回「大学改革に関するメッセージ」参加数：81名
第2回「大学のガバナンス改革と広報戦略」参加数：28名
第3回「学生の成長を導くための「学修成果の可視化」～IR活用事例を交えて～」参加数：24名
第4回「第3期認証評価と内部質保証の実質化に向けて」参加数：27名
第5回「ステークホルダーが抱く「成蹊大学」のイメージとは？」参加数：48名
第6回「大学における障がい学生支援の現在 ～DO-IT Japan*やPHED**の取り組みから～」参加数：36名

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況
　ａ　実施の有無及び実施時期
大学全体として、前期末、後期末に実施する。

　ｂ　教員や学生への公開状況、方法等
当該学期の次の学期（前期実施であれば、後期）のはじめころに、HP（学内専用）で公開。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし。

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（別紙 EC令2-6）のとおり。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

大学全体の自己点検・評価報告書として、令和6年度はじめ（認証評価結果受領後）に公表予定（令和4年度報告書作成、令和5年度公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定）。

（前回は、平成27年度報告書作成、平成28年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受審。平成29年度はじめに大学ホームページ上に公開）

b 公表方法

自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上に公開。

③ 認証評価を受ける計画

上述のとおり、令和5年度に公益財団法人大学基準協会での認証評価を受ける予定である。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 〔 有 ・ (無) 〕

≪aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 〔 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降 〕

c 公表方法 〔 ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ） 〕

≪aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 〔特に書類の一部において教員の個人情報（非就任者を含む。）を記載するものがあるものは公表に適切ではないため。〕

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。